

事業評価書

補助事業名	市道為又17号線道路改良工事										
補助事業者名	名護市長										
実施場所	名護市字為又地内										
補助事業の目的	<p>本路線は、市道柳原線を起点に国道58号線(名護バイパス)を終点とする新設道路である。</p> <p>本路線周辺は、国道58号バイパスの開通に伴い、大型ショッピングセンターや飲食店等の商業施設が集積し、急速に発展を遂げている地域であるため、周辺の幹線道路及び生活道路が慢性的な交通渋滞にみまわれ、通勤通学に支障をきたしている状況にある。</p> <p>本路線を新設し、地域交通の円滑化及び、路線周辺に住居地区の形成が図られるようにする。</p> <p>【参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞量</li> </ul>										
補助事業の内容	実施設計 一式、用地測量 23筆、物件調査 4件、 用地購入 A=1804.69㎡、道路新設工事 L=485m W=9.0~9.5m										
補助事業の始期及び終期	平成14年度から平成28年度										
事業費及び交付金額		14年度	18年度	19年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (繰越含)	27年度	28年度	計
	事業費	7,980,000	4,411,000	934,500	30,468,937	17,994,567	8,969,100	18,693,074	15,613,020	39,627,905	144,692,103
	交付金額	7,980,000	4,411,000	934,000	30,458,000	17,958,000	8,969,000	18,683,000	15,613,000	39,627,000	144,633,000
補助事業の成果及び評価	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業により本路線開通したことで地域交通の円滑化を図ることができた。また、開通後に渋滞量調査を行ったところ、1時間当たりの平均渋滞距離(94m減少)及び10分当たりの最大渋滞距離(90m減少)ともに、開通前に比べ減少傾向にあることから、交通渋滞の軽減に繋がっていると評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ及び工事着手前の配布チラシ、工事用看板へ本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を記載し、地域住民への周知を図った。</li> </ul>										
事業の改善策及び今後の対応	今後も安全で円滑な交通の確保を図るために維持管理に努める。										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し										

事 業 評 価 書

補助事業名	市道豊原中央線道路整備工事						
補助事業者名	名護市長						
実施場所	名護市字豊原地内						
補助事業の成果の目標	<p>本路線は、国道329号を起点に県道13号線を終点とする新設道路である。</p> <p>本路線周辺は、名護市マルチメディア館を始めとしたみらい1号館～みらい4号館といった企業集積基盤施設が整備されており、その整備に伴い、交通量の増加、すれ違い困難や危険性の増加が問題となっている為、地域から改善の要望が出ている状況である。</p> <p>このことから、本路線を新設することにより、歩行者及び車両の安全性の確保、また、国道から県道へ直接アクセスが出来る環境の整備を図るものである。</p>						
補助事業の内容	道路新設工事 L=60.0m W=14.5m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 20,512,338	円	円	円	円	円 20,512,338
	交付金額	20,512,000					20,512,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b>          本事業を実施したことにより、歩行者及び車両の安全性の確保、また、国道から県道へ直接アクセスが出来る環境を整備することができた。このことについて、近隣の企業集積基盤施設の企業や豊原区等にアンケート及びヒアリングを実施したところ、「通勤のアクセスが良くなった」、「歩道が整備されたことにより、安全性が向上した」などの回答が得られており、歩行者及び車両の安全性の確保及び国道から県道へ直接アクセスが出来る環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民の周知】</b>          地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺調整交付金事業である旨を工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載するとともに、市のホームページへ掲載して周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安全で円滑な交通の確保を図るために維持管理に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	名護小学校ほか7校物品購入						
補助事業者名	名護市長						
実施場所	名護市大西・字我部祖河・字幸喜・東江・字田井等・字仲尾次・字豊原地内						
補助事業の成果の目標	<p>名護市では、学校耐震化事業のため学校施設の建替えを集中的に行っており、名護小学校ほか7校のうち、稲田小学校、東江小学校、羽地小学校、名護中学校、久辺中学校の5校が平成27年度に完成し、名護小学校、瀬喜田小学校、羽地中学校の3校が平成28年度中に完成する予定である。</p> <p>しかし、既に完成した校舎も含め、全ての小中学校で未だカーテンが設置されていないことから、本事業により普通教室、特別教室等へカーテンを設置することで授業を安定的に行える環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	カーテン 一式						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	7,981,200円	円	円	円	円	7,981,200円
	交付金額	7,981,000					7,981,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b>          本事業を実施したことにより、授業を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小中学校の教師へアンケートを実施したところ、「これまで日差しの反射により黒板やテレビ等が見えづらかった課題が改善され、スムーズに授業が行えるようになった」などの回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知】</b>          保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備したカーテンを適切に管理していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	名護小学校ほか11校物品購入					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市字屋部・大西・字田井等・大北・字幸喜・東江・宮里・字豊原・字仲尾次・字汀間地内					
補助事業の成果の目標	<p>○ 屋部小学校、名護小学校及び羽地小学校（カーテン）  名護市では、学校耐震化事業のため学校施設の建替えを集中的に行っており、屋部小学校及び名護小学校が平成27年度に完成し、羽地小学校が平成28年度に完成している。しかし、既に完成した校舎の普通教室及び特別教室にまだカーテンが設置されていない。</p> <p>○ 大北小学校、屋部中学校（音響機器）  大北小学校及び屋部中学校の体育館の音響機器は、大北小学校は昭和60年、屋部中学校は平成8年に設置したものである。大北小学校はすでに使用不能となっており、簡易な代替品を使用しており、屋部中学校については、音が出なくなることがあり、学校活動に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 瀬喜田小学校（テーブル・イス）  瀬喜田小学校の図工室及び家庭科室のテーブル・イスが老朽化しており、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 東江小学校、大宮小学校、名護小学校、羽地小学校、久辺小学校、緑風学園、羽地中学校、屋部中学校、大宮中学校（牛乳保冷庫）  上記学校の給食受室にある牛乳保冷庫が老朽化しており、安全・安心な給食の提供に支障をきたしている状況である。  以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>					
補助事業の内容	カーテン、音響機器、テーブル・イス、牛乳保冷庫 一式					
補助事業の始期及び終期	平成28年度					
事業費及び交付金額		28年度				計
	事業費	7,585,272 円	円	円	円	7,585,272 円
	交付金額	7,585,000				7,585,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b>  本事業を実施したことにより、授業及び学校活動を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小中学校の教師へアンケートを実施したところ、「テレビの反射が少なくなり、デジタル教材の使用効率が上がった。過剰な光を防ぎ、授業に集中しやすくなった」、「音響機器を整備したことで、ハウリングがなくなり儀式的行事等の際の音響環境が良くなった」などの回答が得られており、安定的に授業及び学校活動を行える環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知】</b>  保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	名護中学校ほか6校物品購入					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市字安和・字我部祖河・字真喜屋・字饒平名・大東・大西・字豊原地内					
補助事業の成果の目標	<p>○ 安和小学校、稲田小学校、真喜屋小学校、屋我地ひるぎ学園、東江中学校(牛乳保冷庫)          上記学校の給食受室にある牛乳保冷庫は、購入から11年～28年以上経過し老朽化が進んでおり、安全・安心な給食の提供に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 名護中学校(角イス)          名護中学校理科室イスは平成13年に購入しており、購入から15年以上が経過し老朽化が進み授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 屋我地ひるぎ学園、久辺中学校(折りたたみイス)          屋我地ひるぎ学園及び久辺中学校にある折りたたみイスは老朽化が進み(屋我地ひるぎ学園は平成7年購入、久辺中学校については不明)、学校行事に支障をきたしている状況である。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>					
補助事業の内容	牛乳保冷庫、角イス、折りたたみイス 一式					
補助事業の始期及び終期	平成28年度					
事業費及び交付金額		28年度				計
	事業費	3,533,760円	円	円	円	円
	交付金額	2,960,000				2,960,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価】</b>          本事業を実施したことにより、授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小中学校の教師へアンケートを実施したところ、「牛乳保冷庫が整備されたことにより、衛生面で安心して児童に牛乳を提供できるようになった」、「角イスの整備により、教育環境が良くなった。統一された高さで生徒の姿勢も良くなっている」などの回答が得られており、安定的に授業及び学校活動が行える環境が整ったと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知】</b>          保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					